

ドゥルー女史記念碑

熊本県・宇土市



宇土市住吉町地先は、一級河川緑川の真水と海水が交じり合う有望な漁場である。

古くからこの海域で海苔養殖が行なわれていたが、夏場の海苔の生体は謎で、海苔の胞子は夏場に岩場に付着して過ごし、秋口に果胞子を出すと思われていて、竹ひびや海苔網を海の中に建て込み、それに自然に海苔芽が着くのを待つという不安定なものであった。

イギリスの藻類学者キャスリーン・メアリー・ドゥルー・ベーカー女史が、夏期に貝殻に付着し休眠している糸状体の海苔を発見し、以来、悲願であった海苔の人工採苗が可能となり、海苔養殖業が飛躍的に発展を遂げることとなった。このドゥルー女史の遺徳を記念するため胸像が建てられ、毎年4月に女史を偲ぶ式典が行なわれている。付近はあじさい公園として整備され訪れる人も多い。

TOPICS

- ・ドゥルー祭 毎年4月14日 開催
- ・特産品：海苔、アサリ、メロン

お問い合わせ先

住吉漁業協同組合

TEL / 0964-24-3205

【交通】

徒歩 / JR住吉駅から15分

